

大学史研究通信

第53号、2008年1月31日(木)

大学史研究会

第53号の内容：会員ニュース・第30回研究セミナー報告・2007年度総会議事録・2007年度会計報告・2007年度年会費未納の方へ～納入のお願い～・編集後記・大学史研究会事務局一覧

会員ニュース

新入会員

船勢 肇(ふなせ はじめ) 会員

所属：大阪府立大学大学院

研究テーマ：日本近現代史・大学自治論・思想史

異動のあった会員

瀧井 一博 会員(住所変更)

会員異動情報の提供のあり方について

「大学史研究通信」では、「会員ニュース」として会員の皆さまの異動情報を掲載しております。基本的に各会員ご本人からの連絡に基づき対応をしておりますが、ご本人以外の方からも情報を提供していただくことがございます。住所変更などの情報を提供いただけない方への連絡が取れることがあることから、そのような情報提供はありがたいことと考えております。

しかし、その一方で、折からの個人情報保護の社会情勢下で、第三者からの情報提供に基づき事務局の方で問い合わせを行うことに問題なしと言い切れないところもございます。各種異動についての情報は各会員ご自身より事務局の方にご連絡いただきたいということは改めていうまでもないことですが、一方で事務局にこの種の情報を第三者の方から提供いただいた際の対応について、以下のルールを進めていくことが2007年総会にて決定いたしました。今後は以下の方針で会員異動情報を会員のみなさまに提供いたします。

- (1) 本人からの情報提供にはこれまで通り対応する(2005年総会で決定した通り、所属は全面開示する。それ以外は変更の旨のみを記載する)
- (2) 第三者からの情報提供については、原則事務局から本人への問い合わせを行わず、本人からの情報提供があるまで異動情報を掲載しない。ただし、会費納入の督促や通信および紀要の発送といった事務局の業務に支障が生じる場合には、事務局より問い合

わせを行う。

(3) 大学間の統合等に伴う所属の名称変更等についても、上記(1)、(2)に準じる。

大学史研究会第30回研究セミナー報告

2007年12月15日(土)・16日(日)の両日、大学史研究会第30回研究セミナーが東京工業大学大岡山キャンパスで開催されました。当日はプログラムに沿って、初日午後に課題研究総会、懇親会、二日目午前に自由研究発表がおこなわれました。

本年度のセミナーについては担当者の不手際で準備が遅れておりましたが、見るに見かねて会場提供のお申し出をいただいた東京工業大学の梶先生、準備期間があまりない中で課題研究での報告・司会をご快諾いただいた潮木先生をはじめとする諸先生方、そしてセミナーのサポートに尽力いただいた事務局の面々のおかげで、最終的に、2002年以降で最も多い44名の方にご参加いただくこととなりました。皆様にこの場をお借りして心より御礼を申し上げます。

なお、私ごとではありますが、今年度末をもちまして事務局を退任することになりました。在任中には多くの方々にひとかたならずお世話になりました。本当にありがとうございました。4月から事務局は新たなメンバーを加えた新体制となります。会員の皆様におかれましては、引き続き事務局にご高配を賜りますようお願いいたします。

文責：福石賢一（事務局セミナー担当）

2007年度 大学史研究会総会 議事録

2007年12月15日(土)

於：東京工業大学

事務局作成

議題

報告事項

編集委員会からの報告（編集委員会、事務局紀要担当）

その他

審議事項

決算報告および予算案について（事務局会計担当）

会計監査人について（事務局会計担当）

来年度のセミナー会場について（事務局セミナー担当）

会員異動情報の提供のあり方について（事務局名簿担当）

事務局員の任期制導入について（事務局）

事務局員の退任について（事務局）

その他

議事内容

報告事項

編集委員会からの報告（編集委員会、事務局紀要担当）

児玉編集委員長、福留事務局員より以下の報告があった。

前年度セミナーの書き起し論文と書評2件を掲載予定。出版については、23号より東信堂に依頼する。今後の紀要のあり方について、東信堂より内容や体裁等について前向きな提案があった。紀要の市販化について東信堂との間で検討を進めている。

書評の執筆者が2名とも非会員であることに関して質問があり、会員からの推薦により執筆を依頼したこと、および掲載に際しては査読を行い、執筆者にもその旨を事前に伝えていたことの説明があった。

また、原稿を会員外に依頼した場合、謝金を支払ってもよいのではないかとの意見があり、その方向で検討することとした。

審議事項

決算報告および予算案について（事務局会計担当）

[2007年度会計報告（本通信1頁）を参照]

会計監査人について（事務局会計担当）

来年度のセミナー会場について（事務局セミナー担当）

福石事務局員より、次年度のセミナー会場および課題研究は確定しておらず、引き続きお引き受けいただける会員を募りたいとの報告があった。

なお、今年度会場を提供していただいた梶会員より、課題研究は別にして、会場提供・準備については大学教員一人でもできることなので、会場だけでも早めに決められる体制をつくるべきではないかとの提案があった。

会員異動情報の提供のあり方について（事務局名簿担当）

吉野事務局員より通信第52号での提案について説明が行われた。その上で、原案通り承認された。[詳細は会員ニュース（本通信1頁）を参照]

事務局員の任期制導入について（事務局）

事務局員の退任について（事務局）

福石事務局員より、2008年3月で6年目の任期を終えることになるため、これを目処として退任することをお許しいただきたいとの申し出があり、承認された。

引き続き、吉野事務局員より、任期を確定して事務局の人的流動性を高めるため、2001年度総会で定められた規定に従い、事務局員の任期を1期2年、最長3期6年とすることが確認さ

れた。また、現在の事務局員については、上記の原則の下、引継ぎ等に支障がないよう配慮しながら退任時期を定めていくことが合わせて確認された。

なお、吉村事務局員（現代表）も2008年3月で在任6年になるが、同氏の退任時期については次期代表を検討する中で定めることとし、次期代表については事務局と編集委員会で人選をおこなうことが承認された。

その他

福石事務局員の退任にともなう後任補充について、井上美香子会員を新事務局員とすることが承認された。

大学史研究会 2007 年度会計報告

大学史研究会 2007 年度会計ならびに 2008 年度予算案につきまして、以下に概要をご報告いたします。

2007 年度の収支報告

【収入】

2006 年度会計からの繰越金は 3,063,983 円でした。

年会費額は一般会員 5,000 円、院生等会員 3,000 円です。2007 年度年会費は 85 名の会員より納入があり（全会員の 57.4%）昨年度のセミナー終了後に納入された 2006 年度年会費を加えると、年会費・入会金の収入額は 648,000 円でした。これは 2006 年度納入額に比べ 67,760 円の増加となります。しかし、実収入が増加したとはいえ、ここ数年、総会時点での年会費の納入率は 6 割程度の状況が続いております。研究会の発展と円滑な運営のために、今後とも、年会費納入にご理解ご協力をお願い申し上げます。

つきましては、2007 年度年会費未納の方には、本通信に年会費納入依頼通知と払込票を改めて同封させていただきました。詳しくは後述の「2007 年度年会費未納の方へ～納入のお願い～」や同封の年会費納入依頼通知をご覧ください。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、その他の収入としては、「大学史研究」（紀要）の非会員への販売制度が確立し、売上金 37,000 円がありました。

2007 年度の総収入額は 3,752,609 円、前年度繰越金を除いた実収入額は 688,626 円でした。

【支出】

2007 年度は「大学史研究」（紀要）第 22 号の発行にあたって、346,500 円の支出がありました。この内訳は、制作 100,000 円、印刷（220 部）200,000 円、発送 30,000 円、消費税 16,500

円となっております。

第29回セミナー開催経費は、会員以外の方にご報告を依頼したことから、出張費、ならびに謝金をお支払いし、173,263円となりました。

印刷費については1,542円の支出となります。これは「大学史研究通信」発行の印刷、会員への諸連絡印刷物、年会費納入依頼通知の印刷等の経費です。これまで、事務局員が大学で負担している部分も多く、少額で済んでおりますが、総会でのご意見を踏まえて、今後はこうした負担をなるべく掛けないようにしていきたいと考えております。

通信・郵送費の支出71,340円は、「大学史研究通信」の発送、年会費納入依頼通知の発送、セミナーの出欠調査ハガキ、その他宅配便等の経費です。

消耗品・諸雑費として20,380円、また、謝金として20,000円を支出しました。「大学史研究通信」の発送や名簿データ入力補助など、一度に大量の事務作業がある時はアルバイトを依頼しております。

次年度繰越は3,074,680円、来年度繰越金を除く総支出は677,929円でした。繰越金を除く収支の差は、10,697円の黒字となりました。

「2007年度会計報告」に明らかなおと、2007年度の会計については、前年度に引き続き、進藤修一会員に監査を依頼し、精細な監査の上会計の適正処理をご承認いただきました。御多忙のなか、監査業務を賜りました進藤会員にはこの場を借りて心より御礼申し上げます。また、次期会計監査人は事務局からの推薦を受け、深野政之会員（東京女子大学）の就任が総会において了承されました。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、総会では、会計報告を予算案と対比的に記載するのが望ましいとのご指摘を受けましたが、この課題は次年度以降に検討するとして、2007年度会計報告は総会でご承認されたかたちで記載いたしました。

2008年度予算案について

大学史研究会では、次年度の予算案について、まず事務局が基本案を作成し、これを総会に提示し、そこでの審議を経て最終決定をいたします。例年と同様、2008年度予算もこの手順にしたがって基本案を作成し、総会審議を経ましたが、その折、セミナー開催経費、謝金、予備費の計上が必要だとのご意見を賜りました。よって、事務局で検討のうえ、それらの項目を追加して予算案を決定しましたので以下にご報告いたします。

【収入案】

収入は年会費と紀要売り上げがすべてです。なかでも、本研究会の運営経費は年会費納入に大きく依存しております。2008年度においては、昨年度並みの650,000円を収入予定額として設定しました。繰返しとなりますが、2008年度も会員各位のご理解ご協力をお願いする次第です。

紀要売り上げも例年並みの収入を想定しました。紀要はおかげをもちまして編集委員会の営業努力を賜り、会計をうるおしていただくようになりました。今後とも引き続きよろしく

お願い申し上げます。

なお、新設の項目となりますが、今回のセミナー開催経費の戻しいれ額を、事前に大会校にお預けした準備金相当額に見積もっております。セミナー開催経費については、後述の支出案も併せてご参照ください。

総収入額は 3,828,680 円、繰越金を除く総収入額は 754,000 円としました。

【支出案】

支出案は例年の予算案で設定している支出項目と支出額を考慮しつつ、算出いたしました。2007 年度においては「大学史研究」を一回（第 23 号）発行する予定になっております。発行経費（制作・印刷・発送費の総計）は 350,000 円です。ここ数年の実績を踏まえて、一回分の経費といたしましたが、紀要発行は研究会の活性化にとって最も重要な事業です。投稿論文の数に応じて年二回の発行となる場合には、その都度柔軟に対応させていただきます。

セミナー開催経費は、今回新たに設定した項目で、本年度開催予定のセミナー準備金として事前に開催校にお預けする費用です。通常、参加費で経費は賄えますので、収入欄にもあるように、翌年度はそのまま戻し入れていただくことになると思います。

大学史研究会ホームページにつきましては、研究会の情報発信機能として、今後一層の充実と活用を図る予定です。この経費として 30,000 円を含めております。

編集委員会、及び事務局の会合費（交通旅費を含む）については、かつての総会で承認された項目ですので、それぞれ 50,000 円を計上いたしました。研究会の円滑な運営を目指して、定期的に会合を開けるように努力したいと思っております。

その他諸経費は、ほぼ例年通りの額を計上し、さらに総会でのご意見をもとに、非会員への原稿依頼等に必要な謝金 20,000 円、予備費 100,000 円を追加しました。

2008 年度から次年度への繰越金は 3,043,680 円、繰越金をのぞく総支出予算案は、785,000 円を予定しています。

本研究会では、全体としては緊縮財政を謳っておりますものの、予算の有効活用にむけての支出にはやぶさかではありません。「大学史研究会の発展のため」、あるいは「会員サービスのため」に必要な経費支出の要請があった場合は、事務局でこれを検討し、それが妥当性をもつと判断しうるかぎり、新たな支出も認めております。今後とも会員各位からのご提案、ご教示を歓迎いたしますとともに、研究会の将来的なことも併せてご検討いただければ幸いに存じます。


以上の「2007 年度会計報告」及び「2008 年度予算案」につきまして、ご質問、ご提案等ございましたら、事務局までご連絡のほどよろしくお願いいたします。

（事務局会計担当 杉谷祐美子）

大学史研究会 総会 資料 (2007年12月15日:東京工業大学)

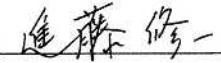
大学史研究会 2007年度 会計報告
(自2006年11月25日~至2007年12月14日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥3,063,983	「大学史研究第22号」制作・印刷・発送費	¥346,500
年会費・入会金	¥648,000	第29回セミナー開催経費	¥173,263
「大学史研究」売上金	¥37,000	名簿発行経費	¥44,904
利息	¥3,626	印刷費	¥1,542
		通信・郵送費	¥71,340
		消耗品・諸雑費(文具・振込み手数料等)	¥20,380
		謝金(アルバイト代)	¥20,000
		次年度繰越金	¥3,074,680
計	¥3,752,609	計	¥3,752,609
前年度繰越金を除く総収入	金 688,626 円	次年度繰越金を除く総支出	金 677,929 円
		上記収支差し引き	金 10,697 円

上記のとおり、報告いたします。(事務局 会計担当 杉谷祐美子) 

上記の会計報告について会計監査を実施した結果、領収書ならびに預金通帳等はすべて妥当かつ正確に処理されていることを認めましたので報告いたします。

(会計監査)





大学史研究会 2008年度 予算案

(自2007年12月15日~至2008年 総会開催前日)

収入 支出

科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥3,074,680	「大学史研究第23号」制作・印刷・発送費	¥350,000
年会費・入会金	¥650,000	第31回セミナー開催経費	¥50,000
「大学史研究」売上金	¥50,000	ホームページ管理費	¥30,000
第30回セミナー開催経費戻し入れ	¥50,000	編集委員会会合費・旅費	¥50,000
利息	¥4,000	事務局会議経費・旅費	¥50,000
		印刷費	¥20,000
		通信費	¥75,000
		消耗品・諸雑費	¥10,000
		謝金(アルバイト代)	¥30,000
		謝金(非会員への執筆依頼等)	¥20,000
		予備費	¥100,000
		次年度繰越金	¥3,043,680
計	¥3,828,680	計	¥3,828,680

前年度繰越金を除く総収入 金 754,000 円

次年度繰越金を除く総支出 金 785,000 円

上記のとおり、ご提案いたします。(大学史研究会 事務局)

2007 年度年会費未納の方へ ~納入のお願い~

本研究通信に掲載されております会計報告のとおり、大学史研究会の実収入は会員各位からの年会費に大きくよっております。2007 年度、全会員数に対する年会費納入率は 57.4%であり、未納会員も少なからぬ状況です。そこで、2007 年度の年会費納入依頼通知は昨年へ発送させていただきましたが、2008 年 1 月 30 日現在未納の方につきましては、会費納入依頼通知と払込票を再送させていただくこととしました。研究会の発展と円滑な運営のため、なにとぞ会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。年会費納入の詳細につきましては、同封しております納入依頼通知をご覧ください。

年会費は 5,000 円です。大学院等在学、あるいは日本学術振興会特別研究員の各位には「院生・学生会費(年会費 3,000 円)」制度が適用されます。過年度分年会費未納の会員各位には、同封書類に、未納年度と 2007 年度会費分を含めた金額総計をご連絡しております。年会費 3 ヶ年度分以上の滞納会員には、研究会継続参加のご意志を年会費納入によって確認できるまで、大学史研究会からの諸連絡や「研究通信」、紀要「大学史研究」等の発送を停止することになっております。該当会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますので、ご留意願います。

なお、本依頼通知発送と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

年会費納入払込先

郵便振替口座 大学史研究会 口座番号 00120-3-47583

または

銀行口座 大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店(店番 671)
普通預金(口座番号 3456109)

(事務局会計担当 杉谷祐美子)

「会員新刊ニュース」情報提供のお願い

本通信では、会員の研究活動の紹介を心がけておりますが、編集者の情報のみでは限界があります。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局(代表 E メールアドレス: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp)もしくは本紙編集担当の福留までご一報頂ければ幸いです。

退会者の報告

以下の会員の方が退会されます。長い間本会の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

退会者：高橋秀行 会員、柴田隆行 会員、江津和也 会員

原稿募集

『大学史研究通信』第 54 号は 2008 年 4 月 30 日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は事務局（代表 E メールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の田中までお願いいたします。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。また、教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外でのご連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は事務局代表 E メールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）までお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第 14 号～現在発行号までを希望者に頒布いたします。事務局代表 E メールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）までご連絡ください。折り返し、請求方法をご連絡いたします。

編集後記

通信第 53 号をお届けいたします。時期の関係上、事務局からの報告が中心となりました。昨年末に行われたセミナーは、第 30 回という記念すべきときにふさわしく盛会となりました。フンボルト理念という、大学史の勉強をしたことのある者であれば何度ともなく耳にしたことのある理念について、さまざまな方向から議論が展開されました。2 日目の自由研究発表は地域も時代もさまざまでありましたが、近代日本のことを専門としている私には、戦後を扱った研究が最も印象に残りました（もちろん他の方の研究も大変示唆に富む内容だったことは言うまでもありません）。日本ひとつをとっても戦後 60 年以上経つわけで、大学「史」といったときに、どの時代までが歴史の射程に入るのかということなどを考えました。

次号の通信が出る頃には事務局員も若干若返ります。事務局員の任期制の導入も決まり、今後さらなる若返りが図られることとなります。みなさまの積極的な事務局への参加とともにご支援のほどよろしくお願いいたします。

(吉野剛弘 記)

『大学史研究通信』第53号の編集は事務局・吉野剛弘が担当いたしました。

連絡先 〒270-1382 千葉県印西市武西学園台 2-1200
東京電機大学 情報環境学部
TEL: 0476-46-4111 (代表) FAX: 0476-46-8038 (代表)
E-mail: tyoshino@sie.dendai.ac.jp

『大学史研究通信』第54号は、2008年4月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒635 8530 奈良県大和高田市東中 127
奈良文化女子短期大学 吉村日出東研究室内 大学史研究会
TEL: 0745 52 1279 E-mail: yosimura@narabunka.ac.jp
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。
E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

大学史研究会事務局員 (五十音順)

井上 美香子 (九州大学大学院)	岡田 大士 (政策研究大学院大学)
杉谷 祐美子 (青山学院大学)	田中 正弘 (島根大学)
福留 東土 (一橋大学)	吉野 剛弘 (東京電機大学)
吉村 日出東 (奈良文化女子短期大学)	